



〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350
TEL 028-649-8649 FAX 028-649-5026 URL http://www.utsunomiya-u.ac.jp
E-mail plan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp



豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ

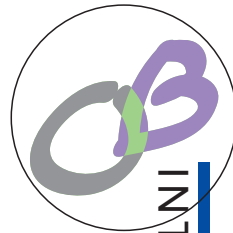
NOW

● vol.12

発行：宇都宮大学
編集：広報室

CONTENTS

- 1 自分を生きる
- 2 座談会 語り合おう、宇大の魅力
- 4 地域貢献REPORT
- 5 SLOW FOOD
- 6 学生アンケート「宇大生は今！」
- 7 INFORMATION
- 8 研究 Keyword



自分を生きる

フラメンコダンサー

須永 実季
Sunaga Miki



思い切って足を踏み出せば道は拓ける

フラメンコダンサーとお会いするのは、初めての経験でした。どうしても情熱的な女性をイメージしてしまいます。私たちの先輩である菅原の須永さんは、力強いステップを踏み続けるステージ上の姿とは対照的に、とても穏やかで可愛らしい女性でした。その話からは真つ直ぐに自分らしく生きていこうとする想いが伝わってきます。芯の強さと内に秘めた情熱を感じました。やはりそれは、フラメンコダンサーの姿でした。

(取材/農学部3年・三瓶尚子)

アンダルシアの暮らし

1995年、須永さんはフラメンコの本場スペイン・アンダルシアに向かった。この先フラメンコとどう向きあっていくべきか、決着をつけるためだ。「そのころいろんな踊りをやっていた。フラメンコはその一つに過ぎなかった。フラメンコを続けるべきか、やめるべきか、本場の空気に触れ、そこで答えを出そうと思いました。」

セビリアの街角で出会った「フラメンコ」は、このころの迷いを一瞬にして消し去った。「ものすごい衝撃でした。今まで自分は何をやっていたのだろう、本当のフラメンコはぜんぜん違う。そのとき踊りはフラメンコに絞ろうと決めました。」なぜ、それほどまでにひき付

けられたのか。

「今でも言葉では表現できない」という。ただ、フラメンコを育んだアンダルシアの風土、人々の暮らしがとても魅力的に感じられた。「時間がゆったりと流れていて、本当に大切にすべきことにしっかり時間をかけて生活している。お昼は必ず家に帰ってきてご飯を食べる。その後シエスタ(休息)の時間がある。肉は肉屋さんで野菜は八百屋さんで買う。日本では、スーパーやコンビニに行けば何でも揃ってしまう。日本は便利すぎる。時間をお金で買っているようなところがある。それに馴れてしまったことにショックを受けた。アンダルシアの暮らしは、不便かもしれないけど、とても新鮮に感じまし

た。

「大学生活は大切な時間。私は一人であるのが好きだし、家でずっと絵を描いているような子も多かった。そういう中で安心して自分を表現できるのが踊りでした。」

宇都宮大学時代はダンス部に

所属。「自分のやりたいことを自由に探し回っていた4年間だった。そういう意味で感謝を覚える時間でした。ダンスに明け暮れる毎日。学業の傍ら、ニューヨークに渡りジャズダンスやモダンバレエのレッスンを受け腕を磨いた。「踊っているときに一番ストレスがないんです。言葉を使うのは難しく、と言つて須永さんが、「これは大切なことだから」と一生懸命話してくれたのが

「教育」への想いだっ

た。画一的な教育に馴染めずストレスを抱えたわが子を目の当たりにし、「子どもの個性や可能性他の誰でもない自分という存在を愛せる感性を伸ばしてあげること」が教育だと思った。「自分を愛せてこそ他人への思いやりも持てると思います。自分の中にあるもの、創造性とか感性とかを使って自分で創り出すもので自らが幸せになり、他人も幸せにできる、みんながそういう生き方をできれば一番いいと思います。」

大切な時間だということに気付

いて、自分の生き方を探してもいい。思い切って足を踏み出せばどんな道は拓けるかということ、私自身実感しています。」

ない生活はできないけど、もっ

と無駄を減らせると思う。いま、楽しみながらそれに挑戦していきます。」

私のフラメンコを踊る

2年前から、フラメンコギタリストの夫と2人の子とも共に伊豆の自然の中で暮らす。「畑仕事もしています。なるべくモノは自分でつくって、ごはんもじっくり時間をかけてみんなで食べています。当たり前のことを、ちゃんとしっかりやる。いまの生活をするようになって、どれだけ無駄なものが世の中に氾濫しているかが分かりました。家にはテレビもレンジもありません。何ものにもお世話になら

ない生活はできないけど、もっと無駄を減らせると思う。いま、楽しみながらそれに挑戦していきます。」

PROFILE

「すなが、みき」1971年、栃木県宇都宮市生まれ。04年、宇都宮大学教育学部中学校教員養成課程保健体育科卒業。3歳よりクラシックバレエを始める。宇都宮女子高校在学中は、新体操、本学入会後ジャズダンス、モダンバレエなどさまざまな舞踊に活動の幅を広げる。フラメンコに出会う。05年渡西。現地のフラメンコに魅了され、フラメンコに専念することを決意。その後数回にわたる渡西で自己のスタイルを追求。帰国後、フリーの踊り手として活動を開始。現在、公演活動のほかフラメンコ指導、テレビ、ラジオ等の出演など幅広く活動中。第3回修善寺・桂原音楽賞「クラシック」受賞。

撮影場所提供
地中海&スペイン料理 Leaf